

大麦の出穂期は生育の早いほ場で4月17日前後と見込まれ、おおむね平年並みとなっています。

ただし、地域により生育の差があることから、赤かび病防除は、大麦の出穂状況を確認し、適期防除に努めてください。

【出穂期の目安（10月上旬播種）】

平坦地域：4月17日頃 中間地域：4月23日頃

【防除の目安】

防除月日		農薬名	10a当たり散布量
平坦地域	1回目（穂揃期） 4月20日頃	トップジンMゾル	ドローン：8倍（0.8ℓ） 乗用管理機：1500倍（150ℓ）
	2回目（1回目の7日後） 4月27日頃	ワークアップフロアブル	ドローン：10～16倍（0.8ℓ） 乗用管理機：2000倍（150ℓ）
中間地域	1回目（穂揃期） 4月26日頃	トップジンMゾル	ドローン：8倍（0.8ℓ） 乗用管理機：1500倍（150ℓ）
	2回目（1回目の7日後） 5月3日頃	ワークアップフロアブル	ドローン：10～16倍（0.8ℓ） 乗用管理機：2000倍（150ℓ）

※出穂期が早い場合、登熟期間が長くなり病害発生の危険性が高まるので、適期の防除に努めてください。

※無人ヘリコプターによる防除予定時期

防除時期	農薬名	10a当たり散布量
4月20日～29日頃	トップジンMゾル	8倍（0.8ℓ）
4月27日～5月6日頃	ワークアップフロアブル	10～16倍（0.8ℓ）

（水田リノベーション事業に申し込まれた方へ）

- 排水溝の手直しを行った写真を撮影して下さい。
（手直し前、手直し後の写真をお願いします。）
- 手直しの必要のない場合も、排水溝の点検を行った根拠となるため、排水溝の写真撮影をお願いします。

